

有限会社野津木工所

■事業

新型縁貼り機、新型スライドソーの導入による生産性向上

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

エッジバンダー、スライドソー

木を知り尽くしたプロフェッショナル集団がフルオーダーで家具や建具を製作

【経営理念】

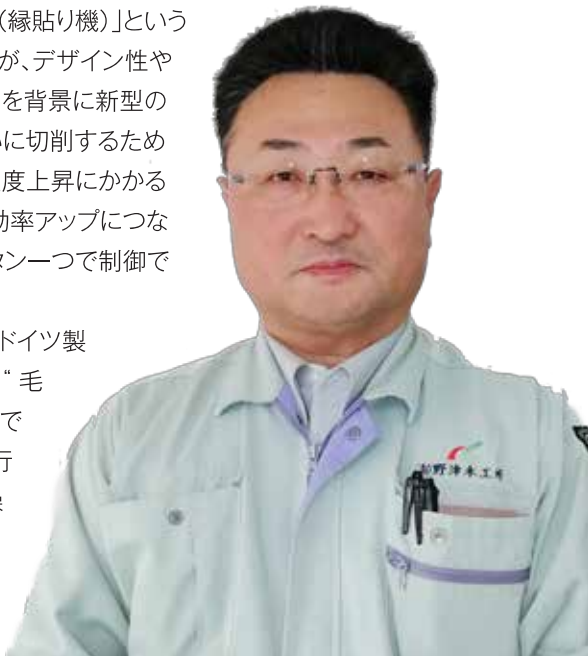
納期、品質に責任を持って、確実に丁寧な仕事を

デザイン性の高いオフィスや住宅、大規模な公共施設などでは、市販されている一般的な家具や建具ではニーズに応えられないことも少なくない。雲南市に本社工場を構える有限会社野津木工所は、顧客の要望に応じて完全オーダーで造り付けの木製家具や建具を製作。食器棚や本棚、シューズクローゼットなど住宅に不可欠な家具から、市庁舎や病院の受付カウンター、議場机など公共施設の必須アイテムまで空間にマッチした快適なオンリーワンの商品を数多く手掛けてきた。今秋リニューアルオープンした地元、出雲湯村温泉の国民宿舎「清風荘」では、家具類をほぼすべて製作。創業以来、確かな技術力で高い評価を得てきた。

新型のエッジバンダーやスライドソー導入で品質向上と作業効率アップを実現

近年増えているのが、フラッシュ工法の家具。枠組みされた芯材にベニヤなどの合板を貼り合わせてパネルを作るため、無垢材よりも低コストで製作でき、軽くて丈夫なのがメリットだ。フラッシュ工法では、切り口が木材に見えないため、仕上げに外側を化粧する必要がある。その最後の工程に使われるのが、「エッジバンダー（縁貼り機）」という機械だ。野津木工所でも以前から使っていたが、デザイン性や品質面で顧客のニーズが一層高まっていくのを背景に新型の機械を導入。接着面を0.5ミリの薄さできれいに切削するため仕上がりがより美しくなったほか、接着剤の温度上昇にかかる時間が大幅に減ったため、コスト削減や作業効率アップにつながった。縁材の切り替えや温度変更などがボタン一つで制御できるので使いやすさも向上した。

木材を正確に切断できる「スライドソー」もドイツ製の新型機械を導入した。「主のこ」の手前で「毛引きのこ」を使って削るため、「ささくれ」ができず切削表面がきれいに。寸法設定を手動で行う従来の機械に比べ、刃物の高さや寸法を操作パネルを使って0.1ミリ単位で設定できるため、精度が著しく向上した。寸法設定の微調整にかかる時間も省かれ、作業時間の短縮化にもつながった。「切削自体の時



代表取締役 野津 朗利

☒ものづくり技術 ☐革新的サービス



1 スライドソーで木材を高精度にカット
2 フラッシュ工法に欠かせないエッジバンダー
3 完成した建具



間は従来の機械と大差ありませんが、準備にかかる時間が大幅に短縮されました。そのうえ仕上がりの良いので、短納期高品質を求められるお客様の期待に沿えるようになりました」と野津朗利社長。

経験や技術力に加え、コミュニケーション能力も磨き顧客のニーズを超える高品質な商品を

家具や建具の製作ではまず、工務店から届いた設計図を元に施工図を作成。細かい寸法や材料などを書き込むほか、用途に応じた荷重を考え、必要な金具なども調達する必要がある。時には荷重不足や部品欠品などで設計図通り作れないことが分かり、工務店などと再度やり取りすることも。ミリ単位のずれで扉の開け閉めができなくなったり、引き出しが収まらなくなったりする可能性もあり、最後の微調整は経験が左右する。「様々な工程を経て作品を作り上げていくものづくりでは、一瞬の油断が仕上がりを左右します。機械そのものの性能が上がっても使いこなす職人の技術力が劣ればいい作品はできません。日々精進して、お客様の要望以上の商品をお届けできれば。」と野津社長の言葉に、ものづくりへのこだわりを感じることができる。

■Company Data

有限会社野津木工所



野津木工所

代表者名：野津 朗利
創業年月：昭和30年9月
設立年月：昭和44年7月
資本金：10,000千円
従業員数：6人
主たる業種：建具・造付家具製造業
本社：〒699-1311 島根県雲南市木次町里方974-5
電話：0854-42-0754
FAX：0854-42-0798
URL：http://notsumokkou.jp/